

## あゝ風通信 14号

応援します、生涯学習 - ふえる知識と仲間の輪



## いしかり市民カレッジ・後期主催講座詳細決まる！

いしかり市民カレッジ後期(10月～3月)の講座が決まりました。

昨年度まで好評だった講座 10、12、14 は内容を充実し継続開講。さらに、今年度は新たに講座8、9、11、13、15 の5講座を開講します。講座8は、2010年6月、7年ぶりに帰還した小惑星探査機「はやぶさ」が持ち帰った帰還試料の分析の苦難や成功などについて、北大の現役研究者が講義します。

後期講座で特に注目されるのは、講座11と15です。昨年3月に発生した福島第一原発事故以来、原子力エネルギーに国民の関心が高まっているなか、わが国の将来のエネルギー問題とどう向きあえばよいのか。講座11は、「原子力と自然エネルギーの未来を考える」をテーマに、自然エネルギー研究センター長・大友詔雄氏の講義。また、講座15は、「原子力エネルギーはなぜ必要か」をテーマに、北大名誉教授・杉山憲一郎氏の講義を予定しています。資源に乏しいわが国の将来エネルギーを考えるうえで、大いに参考となる示唆に富む講座です。ご期待ください。

平成 24 年度後期(10～3月)開講予定主催講座

講座名	開講期日	会場
講座8 / 顕微鏡を使って宇宙を覗いてみよう ～小惑星探査機「はやぶさ」帰還試料の分析～	10/13 11/10	花川北コミ
講座9 / 石狩川に棲息する魚介類と漁業の移り変わり	10/30 12/15	りんくる
講座10 / 藤村久和さんと学ぶ～ 「文献読み取りによる北海道開拓」	10/25 11/1 11/22	学び交流センター
講座11 / 原子力と自然エネルギーの未来を考える	11/15 12/6	花川北コミ
講座12 / 牛乳をもっと知ろう	11/28 12/12	花川北コミ
講座13 / 科学は面白い！ 実験でなっとく	1/9 1/23 2/6	学び交流センター
講座14 / 辻正一さんが語る「お茶の間目線の経済炉辺談義」	1/26 2/16 3/9	花川北コミ
講座15 / 原子力エネルギーはなぜ必要か	2/9 2/23	花川北コミ

## 前期主催講座 受講者695人！

24年度前期主催講座の受講者数

講座名	全回数	定員 受講者数	
		定員	受講者数
講座1/田中實さんが語る石狩歴史秘話	全2回	60	108
講座2/アジア人はるかなる旅	全2回	60	95
講座3/村山耀一さんと歩く石狩歴史散歩	全3回	90	109
講座4/アートを探しに出かけよう	全2回	60	70
講座5/北海道の果樹を学び、つくる	全3回	90	102
講座6/北海道開拓者精神とは・・・	全2回	60	70
講座7/石狩平野北部の地質と地震問題	全3回	90	141

講座7の3回目の受講者数は、受講予定者数による。

いしかり市民カレッジの前期主催講座の受講者は695人で、いずれも講座の定員を上回り、好評のうちに終わることができました。

市民カレッジデータ

(9月25日現在)

登録者～181人

協力団体～91団体



ロゴ制作者  
丸山英里子さん

## まちの先生企画講座3

## 楽しいハンドメイド

### 講師と講座紹介

講師の佐藤由紀子さんは“手作りSHOP プラザ310”を主催されており、お花の師範のセンスを活かし、友人、知人の手作り愛好者の作品をまとめ、サッポロさとらんどの「ミルクの郷まきば館」やラッキー花川南店内の「にとう上光園」「地域食堂きずな」、花川南の「ビューティサロントロワイール」などで展示し販売もしております。

平成21年に市民カレッジの講師として、ハンドメイド体験工房の講座を開いた経験もお持ちです。当時は春に向けての雛飾りや壁掛けアートフラワーなど季節のテーマに沿って作成し、いつの間にか受講生同志出来上がった作品を觀賞し合い、出来栄えに満足したり感心したりと和気あいの雰囲気の中、プレゼント用にと材料を別に希望される方もいて講座も大好評のうちに終わりました。その後、受講された皆さんから講座再開の要望も多く、今回『まちの先生』として参加して頂くことになりました。

秋から冬にかけてハロウィンやクリスマス、お正月と、季節に合わせた手作り小物をお部屋に飾って楽しむもよし。また、心のこもった贈り物としても喜んでいただけることでしょう。

第1回「ギフト用フラワーBOX」は9月26日に終了しましたが、

第2回11月7日(水)の『クリスマスアレンジフラワー』

第3回12月5日(水)の『正月用和飾り』は、花川北コミセンで午前10時～12時半に開かれます。皆さんの参加をお待ちしています。



作品例

### いしかり市民カレッジ

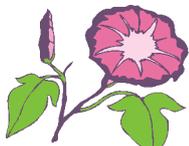
## 第4回連携団体連絡協議会～魅力ある講座づくりのために～

第4回連絡協議会が6月28日14:00より、18団体が参加して公民館にて開催されました。

自己紹介のあと「学びのスタンプ」押印についての質問があり、市民カレッジより「学びのスタンプ」「学びの記録(手帳)」の説明がありました。また問題点として会員数の減少、高齢固定化の現象などが挙げられました。

協議に入り、市民カレッジより「学びのスタンプ」押印など連携団体をお願いすること、講座情報、団体情報を頂くことで講座PRなど連携団体のお手伝いできることなど、説明がありました。

また、魅力ある講座づくりのための共催講座推進について 昨年行われた藤女子大学と市民カレッジの共催講座が今年も計画されている。 いしかり海辺ファンクラブと石狩浜海浜植物保護センターとの共催講座実施。(財)石狩市体育協会、石狩スポンジテニス協会、石狩バウンドテニス協会の3団体による具体的な話し合いが行われることとなった。



などの報告がありました。

さらに市民カレッジから、講師紹介の仲立ちも出来る限りお手伝いします、との表明がありました。今回は、会議の予定時間を超過し、これまでより一歩踏み込んだ議論ができました。

### 私もスタッフになりました 寺内啓二 (総務・広報グループ)

私は平成21年「いしかり市民カレッジ」がオープンするというニュースを知り受講生として登録しました。思えば最初の講座は、田中先生の「いしかり人物語」でした。それはまさしく石狩を知るための第一歩としてぴったりの内容でした。あれから4年余り受講し、ある程度の石狩市の歴史を知ることができました。

今年の2月に開校3周年記念講座交流会の席で運営委員のスタッフの方に誘われてお手伝いすることになりました。

運営委員会会議で「いしかり市民カレッジ」が総務省の「全国市町村の活性化77事例」の1つに選定された事を知り、すごい組織の仲間入りしたものとびっくりしております。

微力ながら邪魔にならないように頑張るつもりですのでよろしく願いいたします。



## 連携団体紹介

### 藤女子大学人間生活学部公開講座委員会

藤女子大学人間生活学部は1992年に開学し、ここ20年の間に、住環境、福祉、食物栄養、保育といった人間生活の根幹に関わる領域において、研究・教育に従事してきました。社会情勢の変化と共に、様々な変革が求められている現代社会において、ここ40年の間に札幌のベッドタウンとして栄えてきた石狩も、少子高齢化、就職機会の喪失、社会階層の分断化などといった日本の地方都市が抱えている問題が生じてくるようになってきました。この種の課題に立ち向かうためには、国家的・国際的規模の戦略に依った改革が必要であるということは言を俟ちません。しかし、忘れてはならないのは、個人個人の顔が見えるレベルでの強固な人的ネットワークと、活力のある地域社会が地盤になれば、この種の大きな変革も絵に描いた餅になってしまう恐れがあるということです。こういった現状を踏まえ、大学と地域社会が結束してこの種の問題に取り組むべく、藤女子大学人間生活学部公開講座は「石狩の魅力を掘り起こす」ことを統一テーマに、2010年より本格的に活動を始めました。石狩市と連携し、毎年10月に行われる藤女子大学人間生活学部の学園祭「藤花祭」と同時並行的にシンポジウムを開催しています。2010年は望来獅子舞について、2011年は石狩海岸の自然と保全について活発な議論が交わされました。2012年は10月6日11時より「石狩とその食」についてシンポジウムを開催する予定です。また、来年は石狩の教育について議論する機会を提供していきたいと考えています。石狩ないしは近隣のみなさんと、活発な地域社会の形成に貢献することができれば望外の喜びです。シンポジウム当日は、たくさんの方のご来場を心よりお待ちしております。（藤女子大学人間生活学部公開講座委員長 川原功司）

## カレッジ生の声

### 『いしかり市民カレッジ』を受講して

星野隆司さん（花川北）



私は、石狩を『終の住まいの地』と決め転居して来て30年を超えました。

現職、第二の職場時代は大方が札幌への通勤でした。退職を機に、シニアプラザ『はまなす学園』に入講して3年目になります。そこで聞いたのが『スタンプを押しましたか？』とのやり取りで、市民カレッジの存在を知り、市民カレッジ生になって2年目になります。

最初の講座が、村山先生の『石狩の碑』でした。鮭の13場所、弁天社、尚古社、八幡神社を始め多くの神社仏閣の歴史、文化的遺産、石狩の歴史の深さにびっくりしました。また、石狩川の存在は、道内中央部の開拓、発展に欠かせないものだったと思います。その意味でも蝦夷地開拓に対し、石狩の窓口としての存在は重要だったと思います。近年、新港地区の活況もありますが、一市民として歴史を守りつつ石狩の発展を望むものです。

最近の心境を駄作でありますが一旬、『秋味のこの地を子等の故郷に』

## 掲示板

**第7回 修了証授与式、市役所1階ロビーで ~10月2日(火)12時30分より~**  
 今回の受証予定者は10名で、修了証は「いしかり市民カレッジ」学長の田岡市長より授与されます。  
 式終了後は恒例の懇親会が予定されています。

発行

いしかり市民カレッジ運営委員会

編集担当：鈴木・中川（進）・木戸口・粕谷・勝木

お問合せ 石狩市公民館

石狩市花川北6条1丁目42

TEL：0133-74-2249 FAX：0133-74-2249

E-mail：kouminkan@city.ishikari.hokkaido.jp

HPアドレス：http://www.ishikari-c-college.com/